

# IX 平成27年度 事業計画

1 すべての県民への図書館サービスの提供			
項目	行動目標	27年度の事業内容	
(1) どこでも、いつでも、誰でも使える図書館	A どこでも、いつでも使える図書館	協力貸出を申し込んでから届くまでの日数を短縮します	市町村立図書館への搬送便の週2便化を数館で実施
		個人貸出を行っていなかった、地域資料を貸出できるようにします	実施計画に基づき地域行政資料の一部貸出を年度内に試行（新規）
		雑誌を協力貸出の対象とし、市町村立図書館で利用できるようにします	協力貸出の対象とする雑誌、貸出冊数、貸出期間等の具体的な方法案を作成
	I 誰でも使える図書館	遠隔地返却制度の対象範囲の拡大を図ります	新規参加候補の図書館との間で搬送計画を作成
		デジタル資料を積極的に導入します	音楽配信サービスの提供 「貴重和本デジタルライブラリー」に順次新しいタイトルを追加
		県図書館での障害者、高齢者、外国人などへのサービスを拡充します	マルチメディアデジの導入（新規） テキストデジの活用 市町村の図書館職員等を対象とした障害者サービスに関する研修を実施（新規）
(2) 地域の文化・産業を支える図書館	A 地域資料の収集・保存・提供	地域資料を重点的に収集します（重点分野を年度ごとに決めて収集します）	市町村史誌を重点的に収集
		ホームページで公開している「貴重和本デジタルライブラリー」を拡充します	「貴重和本デジタルライブラリー」に順次新しいタイトルを追加（再掲）
	I 愛知の産業の発展に貢献する資料の提供	地域資料のデジタル化を推進します	市町村の図書館職員を対象とした資料のデジタル化推進に関する研修を実施（新規）
		ホームページ内に「愛知県関係資料ポータル」を新設します	「愛知県関係資料ポータル」を公開
(3) 仕事や生活に役立つ図書館	県民が必要とする情報を速やかに提供するためのサービスの充実を図ります	情報の入手に有効なオンラインデータベースを積極的に導入します	新しいデータベースの導入候補の選定
		資料の配置や表示をより利用しやすいものにします	AV室のサイン見直しと案内図の掲示 4階フロアの配置とサインの見直し
(4) 若い人に読書の楽しみを伝え知の力を育てる図書館	児童と大人の間にある若年層に向けて、読書の重要性を啓発し活性化します	若年層に向けた新しいイベントを開催します	見学者へのアンケートなどにより若年層からの意見を聴取し、若年層向けのイベントを開催
		インターネットを利用した若年層向けの情報発信を充実します	「てこぼん大賞」の投票など、利用者参加型コンテンツ等を用意
		高等学校など関係機関との連携や支援を実施します	教育委員会や学校図書館関係者と連携し、学校図書館活性化事業に参画（新規） 市町村の図書館職員を対象としたヤングアダルトサービス推進に関する研修を実施

(5) 生涯学習を支える図書館	ア 情報活用力向上への支援		資料や情報を利用するための力の向上のお手伝いをします	利用者向けに図書館資料に関する講座を開催
	イ ボランティア活動の機会の提供	図書館を生涯学習の場として活用できるようにします	ボランティア活動の機会を提供するとともに、ボランティアとの協働を充実します	おはなし会サポーターの勉強会を開催 大人向けおはなし会の開催
	ウ コミュニケーションの場の提供		資料や情報を媒介としたコミュニケーションの場の提供に努めます	利用者参加型イベントを実施

2 市町村図書館への支援				
項目	行動目標		27年度の事業内容	
(1) 資料の提供	広域的な観点に立って資料の提供・保存に取り組みます	県内の図書館の所蔵資料に関する情報を迅速・的確に入手できるようにシステム等を整備します	雑誌・新聞総合目録システムの改良とデータの更新	
(2) 除籍される資料の保存とあいちラストワン・プロジェクトの推進		県内最後の1冊となる資料を保存します	ラストワン資料の整理・受入を継続するとともに、参加館を拡大	
(3) 運営の助言	市町村立図書館がより質の高いサービスを提供できるよう、運営を支援します	県図書館へのニーズを把握するため、職員による市町村立図書館訪問を実施します	市町村の中央図書館の1/3（16館）以上訪問	
		図書館未設置町村の公民館図書室等への支援を充実するとともに、自治体の理解を促します	図書館が設置されていない町村の公民館図書室等を訪問し読書活動の推進を働きかけ	
(4) 人材の育成		市町村立図書館の人材育成を支援します	県教育委員会や関係団体との連携により研修事業を実施 市町村立図書館職員等を対象とした障害者サービス・デジタル化推進・ヤングアダルトサービス推進に関する研修を実施（新規）（一部再掲）	

3 サービスを広げる図書館ネットワークの形成				
項目	行動目標		27年度の事業内容	
(1) 「資料搬送・情報」のネットワーク	個々の図書館では実施できないサービスの充実を図ります	効率的な資料搬送ネットワークにより相互貸借体制を維持・発展させます	福井県立図書館との協定締結による東海北陸地区の定期搬送便の拡大（新規）	
(2) 「にぎわい」のネットワーク		県内図書館等と連携したイベントの充実を図ります	県内公立図書館連携イベントとして「@ライブラリー」を開催し、共同で広報を実施	
(3) 「人」のネットワーク	新たなネットワークづくりに力を入れ、サービスの輪を広げます	図書館の関連機関との人的な連携を深めていきます	大学や行政機関と協力し、講演会や資料展示などのイベントを実施	
		県内外の図書館や図書館関係団体等との連絡調整に努めます	東海北陸地区図書館協議会等を通して関係を強化	

4 図書館活動を支える体制の整備				
項目		行動目標		27年度の事業内容
(1) 拠点図書館としての資料収集と保存	ア 多様な資料の収集	拠点図書館として必要とされる資料の拡充や保存に向けて行動します	資料収集計画を策定し、市町村立図書館では購入しにくい資料などを計画的に収集します	県立図書館として必要な資料を精選して収集するための年度計画を策定し、計画的に収集
	イ デジタル資料への対応		デジタルで利用可能な資料への対応を図ります	国立国会図書館デジタル化資料の閲覧等の開始（新規） 新規にデジタル化する古書等の候補の選定
	ウ 資料の保存		資料の補修の方針を策定し、計画的に実施します	資料補修方針を策定
(2) 職員の育成と効率的な組織づくり	ア 職員の育成	研修や人材育成を行うとともに、組織と業務を精査します	人材の育成に努めスキルアップを図ります	障害者サービス・デジタル化推進・ヤングアダルトサービス推進に関する研修を実施（新規）（再掲） 館内レファレンス研修を10回実施
	イ 効率的な組織づくり		組織運営の点検・見直しを行い、改善を図ります	平成28年度以降の適正な人員配置計画を策定
(3) 新たな図書館サービスの調査研究・開発		県民や市町村立図書館の意見を踏まえ、新しい方向性を探ります	新しい図書館サービスを調査研究し、先進的なサービスを試行します	マルチメディアデジターの導入及びテキストデジターの活用（新規）（再掲） 来館しなくても利用できるサービスなどの先進事例の情報収集
(4) 利便性の高い施設づくり	ア 快適・安心な施設づくり	快適に安心して使える施設をめざします	居心地良く快適に利用できるよう、施設環境を整備します	閲覧席の椅子座面の修繕を順次実施 利用者の要望を踏まえ快適な環境づくりの方策を検討
			安心して利用できるよう、施設の点検・修繕を行います	冷温水発生器の修繕 無停電電源装置の更新
	イ サービスの水準を高める施設づくり		サービスの水準を高めるのに必要な機能の整備に努めます	閉架書庫の電動書架の保守体制の見直し 優先順位を考慮した整備のための方針の策定
(5) 効果的な広報活動	ア 広報手法の多様化	県図書館をより多くの方に知っていただくために、従来の広報手法に加えて新しい手法も展開します	スマートフォン対応のWebサイトを整備します	スマートフォン対応のページ増を検討
	イ 人が集まるホームページづくり	利用者の読書活動を支援するページを設置します	ホームページに子どもの読書活動を支援するページを設置します	子どもの読書活動を支援するページを順次拡充
	ウ 他機関との連携による情報発信	情報発信を新たなサービスの検討に活かします	他機関と連携して互いの行働の情報を発信します	市町村立図書館等と連携した広報 他機関と連携した講演会や資料展示を通じて情報発信